



旧見付学校だより vol. 80

平成 29 年 11 月 14 日

桶（おけ）樽（たる）

天竜川上流は杉の産地で、江戸へも建築資材としてたくさんの杉材が送られました。その帰りの船には伊豆石が積まれてきました。そのように運ばれてきた伊豆石が見付学校の土台や階段などにも使われています。

杉は家を建てるだけでなく、生活の道具としても様々に使われています。たらい・風呂桶・酒樽などが思い浮かぶと思います。旧見付学校には桶や樽の作り方や、製作用の道具が展示されています。現代はプラスチック容器が普及し、桶や樽は見かけなくなりましたが、木の香りのする容器はいいものですね。

ところで桶と樽はどう違うのでしょうか。一般的には、寿司桶など、ふたが閉じられていないものを桶（おけ）、酒やしょうゆなどを入れ、保存・運搬に使用される、ふたが閉じられたものを樽（たる）と使い分けています。

旧見付学校3階には写真のような「指樽」が展示してあります。

ぜひご来館ください。職員一同お待ちしております。



指樽（さしだる）
※祝事のときに贈る酒樽

〒438-0086 磐田市見付 2452

磐田市旧見付学校 TEL & FAX 0538-32-4511

（休館日：月曜、祝日の翌日、年末年始）

11月の休館日：11/20、24、27

12月の休館日：12/4、11、18、25、26、29～31